

令和2年度 モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立稲スポーツセンター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
3 利用者の増加やサービスの向上を図るための具体的手法・効果	(4) 障がい者スポーツ及び稲スポーツセンターのマーケティング(P R)に関する業務が適切に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> HP の充実を引き続き図られたい。例えば、利用申請書の HP 上への掲載やダウンロードの仕組みの構築、文字の大きさや読み上げ機能の実装などの合理的配慮についてもご検討いただきたい。また、身体、知的、精神などの障がい特性に特化した教室の表記なども実施していただきたい。加えて他施設の HP なども参考にするなどし、利用者にとってわかりやすい HP 作成を希望したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設のホームページについては、引き続き充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左
4 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	(3) 緊急時の危機管理体制を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> 今年度新たに発生した事象であるコロナ対策として、濃厚接触者が出た場合の対応、連絡体制など、適切な対応を実施されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、引き続き適切な対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左

8 安定的な運営が可能となる財政的基盤	(1) 法人の経営状況	・コロナ対策等で厳しい財政状況であったことは否めないが、選定時に、「今後、赤字を計上せずに、財政的基盤の強化に努める必要がある」との講評があった点や、同施設の運営に支障が生じないような財政的基盤が不可欠であるべきことを考慮する必要があると考えられる。	・引き続き財政的基盤の強化に努める。	・同左
---------------------	-------------	---	--------------------	-----